

秋季大会終了 優勝2 準優勝3 3位1 躍動 一中生 さらなる飛躍のために

秋季大会が終了しました。保護者や地域の皆様には、大会前の練習試合等から応援と御協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで多数の優勝や入賞を勝ち取り、県大会への出場権を得ることができました。報告集会での生徒の様子から、各部とも持てる力を十分に発揮し、充実した大会だったことが感じられました。生徒も自信を持ったことと思います。さらなる飛躍のために、次の3点を意識してほしいと思います。

一つには、目標を高く掲げるということです。優勝した部は県大会で勝つということです。準優勝、入賞の部は次回に優勝することを。入賞できなかった部は入賞を目指すということです。今回の成績を守ろう・保とうとすれば次は負けます。同じ中学生が優勝という目標に向かって練習しています。どのチーム（個人）にもチャンスがあります。「勝ちに不思議の勝ちありといえども、負けに不思議の負けなし」と言います。勝ったときには無我夢中でどうして勝てたか分からないということがありますが、負けたときには必ず原因があるものです。勝っても負けても内容を反省し、悪かったところを改善して次の大会に備えましょう。

二つには、本物になろうということです。各部の報告のなかに、「普段の練習をしっかりとやることの大切さがわかった」とか「普段から返事やあいさつをしっかりとやるのが大事だ」という反省がありました。私は時々部活動の練習や授業の様子を見て回っていますが、ユニフォームを着ているときと制服を着ているときとで、ほとんどの生徒が二つの顔を持っているように見受けられます。それはどういうことかということ、部活動のときのあいさつや返事はとてもよくできるのに、授業中や登校時の返事やあいさつがしっかりできない生徒が多いということです。授業中だろうが部活動中だろうが、返事やあいさつというのはすることは一緒です。部活動で身につけたものが、授業中や日常生活のなかで生かされないのであれば、それは偽（にせ）物です。本物にしましょう。

最後に、勉強を頑張ろうということです。2学期がスタートしてすぐに体育祭があり、今回の秋季大会、さらには3次考査があり、その後には合唱コンクールから文化祭へと続きます。文化祭が終わるまで、次から次とやるが続きます。部活動や学校行事に集中して頑張ることはよいことです。そこで忘れてならないのは、部活動も行事も勉強（授業）と並行して行われているということです。並行といいましたが、学校生活の中心は勉強（授業）です。勉強（授業）がいい加減では、いくら優勝カップの数が多くても評価されません。勉強を頑張って、その上に行事や部活動も頑張れるのが本物です。これは口で言うのは簡単ですが、実際には難しいものです。でも、難しいことに挑戦して、達成できるからすばらしいのです。私は一中生にはできると信じます。本物を目指しましょう。目指すだけでなく、実行しましょう。

秋季大会結果一覧

団体優勝 女子バスケットボール 剣道女子
団体準優勝 男子バスケットボール サッカー バドミントン
団体入賞 3位・剣道男子 4位・陸上競技女子総合 6位・陸上競技男子総合

【野球】 1回戦敗退 0 - 9 下長

【バレーボール】 予選リーグ2敗・予選敗退

【卓球】 男子・予選リーグ2敗・予選敗退

女子・予選リーグ3敗・予選敗退

【ソフトテニス】 男子2回戦敗退 0 - 2 市川

女子2回戦敗退 0 - 2 市川

【個人入賞者】 ※3位以上

【バドミントン】 女子ダブルス 3位 岡崎柊花・葛西美宙 組

女子シングルス 3位 石橋未夢

3位 市川瑠菜

1年シングルス 3位 中居沙帆

3位 笹森萌花



【陸上競技男子】

共通棒高跳 1位 中野汰一

1年100m 1位 三浦勝聖

走幅跳 2位 中村月

1年砲丸投 2位 駒木英剛

2年走高跳 3位 七尾日々輝

【陸上競技女子】

1年砲丸投 1位 土屋風凜

2年100m 2位 成田彩夏

1年100m 3位 大橋怜奈

【卓球】 男子シングルス 3位 山岸巧実

生徒会役員11名決定

9月30日（金）、生徒会役員選挙が行われ、新役員11名が次のように決定しました。新役員の皆さんの活躍に期待します。生徒の皆さんも自分たちが選んだ責任をもって応援し、力を合わせて立派な一中にしていきたいと思います。

会 長 小屋敷策恵（2-2） 副会長 千田侑奈（2-4） 高橋将生（1-5）

執行委員 橋爪 駿（2-2） 小向崇仁（2-4） 吉田胡桃（2-1）

出町佳菜（2-3） 松井皓正（1-1） 駒木英剛（1-4）

梅内智穂子（1-3） 土屋風凜（1-4）

生徒会長として ～さわやか三本柱の向上～

小屋敷策恵

生徒会長としてまず最初に取り組みたいのは、一中の伝統となっている「さわやか三本柱」の質を向上させることです。相手と視線を合わせてあいさつし、あいさつでつながる一中を目指したいと思います。清掃では時間いっぱい黙動することを目指し、全学年が一斉に清掃をスタートできるような企画を立てたいと思います。合唱では、生徒集会のときに兄弟学級でまとまって歌うなど、縦のつながりを強められるような企画を考えています。

今までの1年間は、副会長として活動していましたが、自分の役割をこなすだけで精一杯なところもありました。この1年間の経験を活かして、先のことを考え、一中全体がよくなるために、生徒会執行部に何ができるかを考えていきます。各委員会との連携を強めたり、学級の室長や副室長と連携をとったりして、みんなでよくしていこうという雰囲気を作ることから始めたいと思います。一中生全員が生徒会員です。やらされる活動ではなく、一人一人が自分から動けるような一中を目指して、これからの1年間で頑張っていきます。どうぞよろしくお願いします。